

仙台っ子歴史探検隊

小学生を対象とした、わかりやすく仙台の歴史を学ぶ講座です。仙台の基礎をつくった伊達政宗について、体験学習を通して楽しく理解を深めてみませんか。

日時 8月16日(土)13:30~15:00(受付13:15~)

会場 仙台市博物館 ギャラリー、常設展示室

対象 小学校4年生~6年生
 ※常設展観覧料が必要です。
 ※県内の小・中学生を対象とした施設利用のパスポートをお持ちの方は、減免となります。

定員 16名(応募者多数の場合は抽選)

申込 7月18日(金)まで

申込方法 博物館ホームページをご覧ください。

申込方法は
こちら



▲昨年度の体験学習(よろい調べ)のようす

七夕飾り

博物館の夏の行事、大きな七夕飾りがロビーで皆様をお出迎えます。大きな竹に、仙台名産の柳生和紙で作られた短冊を含め、七つ飾りが華やかに彩っています。七夕飾りは、ロビーとプレイミュージアムで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

期間 7月8日(火)~8月17日(日)



▲昨年度の七夕飾りのようす

仙台市

博物館 だより

vol.
217

2025.7月

▼
2025.9月

特別展「伊達を継ぐもの」で展示します。
会期は中面の特別展情報をご覧ください。

表紙の
資料

重要文化財 絹本着色 豊臣秀吉像
 慶長4年(1599) 狩野光信筆
 (公財)宇和島伊達文化保存会蔵
 [大きさ:縦131.2cm 横103.9cm]



豊臣秀吉のすがたを描いた大きな作品です。上部には、慶長4年2月に記された賛があります。制作年代が明らかな秀吉像の中で最も古い優品です。国の重要文化財に指定されているこの作品が、この夏、10年ぶりに宇和島から仙台にやってきます。
 展示期間:7/29(火)~8/24(日)



仙台市博物館友の会 令和7年度会員募集中

「仙台市博物館友の会」は、会員の歴史・美術・文化に対する教養を高め、相互の親睦を図りながら博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする会です。

会員になると特別展(年度内に2回まで無料、3回目以降は観覧料の半額)・企画展・常設展をご覧ください。友の会だよりや博物館のお知らせなどがお手元に届きます。

会費(年額) 普通会員3,500円 / 学生会員2,000円
 賛助会員5,000円

〈お申込み〉

郵便振替口座 **02200-6-31272**
仙台市博物館友の会

振替用紙の「払込人住所氏名・通信欄」に**住所・氏名・職業・年齢・電話番号・会員の種別(普通会員・学生会員・賛助会員)及び新規入会希望の旨**をご記入ください。

※仙台市博物館2階ミュージアムショップでも入会を受け付けています。
 (事務手数料として、別途220円がかかります)

博物館利用案内(7月~9月)

開館時間 9:00~16:45(入館は16:15まで)

休館日 毎週月曜日(7/21、8/11、9/15・22は開館)、
 7/22(火)、8/12(火)、9/16(火)・24(水)

※駐車場には限りがあります。
 ご来館の際は公共交通機関のご利用にご協力ください。

常設展 観覧料

- 一般・大学生 460円(360円)
- 高校生 230円(180円)
- 小・中学生 110円(90円)

※()は30名以上の団体料金。
 ※このほか各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。
 ※特別展観覧料は別に定めます。詳しくは中面の特別展情報をご確認ください。

アクセス ●仙台市地下鉄東西線ご利用の場合 「国際センター駅」下車、南1出口より徒歩約8分
 ●るーぶる仙台(仙台市営バス)ご利用の場合 「博物館・国際センター・緑彩館前」下車、徒歩約3分



特別展

仙台市・宇和島市
歴史姉妹都市提携50周年記念特別展

伊達を継ぐもの

—仙台藩を築立った殿様たち—

会期 7.4 金
▼
8.24 日

※会期中に展示替えがあります。

江戸時代の大名たちは幕府の許可のもと、將軍家やほかの大名家との婚姻・養子縁組によって家を維持していました。仙台伊達家も例外ではなく、全国各地の大名と縁を結び、仙台藩が危機に瀕した時には縁続きの親戚大名たちに支えられました。

この展覧会では、仙台藩初代藩主である伊達政宗の長男・秀宗が初代となった「西国の伊達」宇和島藩をはじめとして、仙台伊達家の息子が跡を継いだ藩に注目し、仙台伊達家との縁や仙台藩と各藩が支え合うことでそれぞれの家を次世代へと繋いでいったようすを紹介します。



宇和島市ってどこ？

宇和島市は愛媛県にあります。仙台藩初代藩主である伊達政宗の長男・秀宗が宇和島藩の藩主になり、「西国の伊達」とも呼ばれる宇和島伊達家の初代になりました。この歴史的な縁をもとに、仙台市と歴史姉妹都市になっています。

担当学芸員の

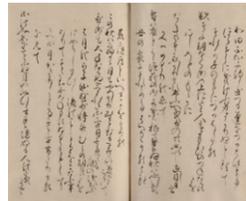
おすすめ資料



桜銀紬系威二枚胴具足
伊達宗賢所用
(公財)宇和島伊達文化保存会蔵



車前草丸三引両紋薄時絵香筆筒
田村村頼正室・本地院所用 個人蔵



嘯月集 土井利徳作・堀田正教ら編
西尾市岩瀬文庫蔵



堀田正教画像 個人蔵



宇和島市指定文化財 伏見御殿屏風(花鳥図)
(公財)宇和島伊達文化保存会蔵 吉岡由哲氏撮影

各種割引、関連イベントなど、詳しくは特別展「伊達を継ぐもの」チラシや博物館のホームページをご覧ください。



特別展情報は
こちら

予告

歴代將軍全ての甲冑が仙台に集結！
家康の愛刀・重要文化財 太刀 無銘 光世作(ソハヤノツルキ)も展示！

特別展 徳川十五代將軍展～国宝・久能山東照宮の名宝～

徳川家康愛用の品々をはじめ、歴代將軍ゆかりの名宝約100点を展示します。
江戸時代の武家文化の精髓をぜひご覧ください。

会期:9/12(金)～11/9(日)
会期中の休館日:毎週月曜日(9/15・22、10/13、11/3は開館)、
9/16(火)・24(水)、11/4(火) ※10/14(火)は開館

重要文化財
金陀美具足 徳川家康所用
久能山東照宮博物館蔵
展示期間:9月12日～10月5日



関連展示「徳川家と伊達家」 展示期間:9/2(火)～11/3(月・祝) 会場:特集展示室※常設展観覧券でご利用いただけます

2025年 夏の常設展 6/17～9/23

6月17日(火)～9月23日(火・祝)まで、「2025年 夏の常設展」を開催します。この期間限定の実物資料をぜひご覧ください。特集展示室では、7月13日(日)まで、大崎八幡宮に関する資料を展示するほか、7月15日(火)～8月31日(日)まで、役者絵・美人画などの浮世絵や「博物館のお仕事」をテーマとした資料を展示します。その他、各展示室のテーマは仙台市博物館ホームページをご覧ください。



収蔵資料
データベースは
こちら



常設展情報は
こちら

Q 常設展示は
なぜ3ヵ月で
展示が替わるの？

A 常設展では、各展示室・コーナーごとに実物資料(本物)を展示しています。実物資料は資料保存のため、展示期間を限る必要があり、約3ヵ月(資料によっては、より短い期間)で入れ替えています。



担当学芸員 ピックアップ資料!!

木目が美しい工芸品 /



埋木細工 亀置物 小竹彰作 昭和時代 館蔵
コレクション展示室I (展示期間:6/10～9/15)

埋木細工とは、仙台市の青葉山や八木山一帯の古い地層から掘り出された原木を材料に細工を施した工芸品です。拭漆を施すことで、原木の木目を活かした深く美しい艶があるのが特徴です。

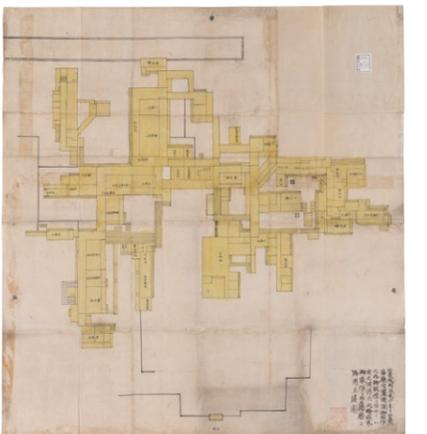
たくさん布を使っています /



浅葱絹地直衣 江戸時代 館蔵
総合展示室 ゾーン3 城
(展示期間:7/29～8/24)

直衣は平安時代の貴族が着た服の形で、長く受け継がれました。胸の部分はふっくらとふくらんでいて、袖も巾が広く丈が長くなっています。この服は江戸時代に仙台藩の藩主が着たものです。

28万石時代の仙台藩庁の絵図 /



仙台藩庁絵図 明治2年(1869) 館蔵
総合展示室 ゾーン6 近代都市へのあゆみ
(展示期間:6/17～9/23)

戊辰戦争に敗れ、28万石となった仙台藩の藩庁の図面です。仙台藩庁は仙台城二の丸に設置されました。図面には農部寮や軍部寮など、江戸時代にはなかった職制の執務室が記されており、藩の組織が変わったことがわかります。

まーくん・めごちゃんによる博物館紹介

NEW!

仙台藩主ポケットガイド

仙台藩は、伊達政宗を初代として、江戸時代を通して13人の藩主が62万石の領地を治めてきました。この冊子では、そんな藩主たちの経歴や家族とのかかわり、ゆかりの地などにも着目し、わかりやすく紹介しています。当館の展示をひと味違う視点で楽しむことができる一冊です。

A5判・64ページ 700円(税込) お求めは2階ミュージアムショップにて



仙台藩と宇和島藩の
かわりもわかるよ!



伊達政宗の紹介ページ

いろいろお殿さまが
いたんだね!

